



2023年2月14日

各位

会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ
代表者名 取締役兼代表執行役社長CEO 廣田 浩治
(コード番号 6464 東証プライム)
問合せ先 IRマネージャー 森田 郁史
(TEL 06-6224-0193)

2022年12月期にかかる減損損失の計上・業績予想の修正、 ならびに2023年12月期の業績及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2022年12月期通期において、減損損失を計上することになりました。また、これに伴い、2022年11月11日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2022年12月期の通期の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

併せ、2023年12月期の業績予想及び配当予想をお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社の各事業につきまして、国際会計基準（IFRS）に基づく減損テストを実施し、将来の回収可能性を吟味した結果、減損の兆候が認められたため、136億円（米国事業の有形固定資産等96億円、リニアビジネスののれん40億円）の減損損失を計上いたしました。

2. 業績予想の修正

2022年12月期通期連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	78,000	4,100	4,100	2,300	56.77
今回修正予想(B)	79,000	△9,060	△9,650	△11,070	△274.47
増減額(B-A)	1,000	△13,160	△13,750	△13,370	—
増減率(%)	1.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	67,926	5,816	5,008	3,554	88.04

修正の理由

売上高につきましては2022年11月11日公表の連結業績予想から大きな乖離はなかったものの、利益は「1. 減損損失の計上について」に記載した減損損失により、連結業績予想との間で差異が発生いたしました。

3. 配当予想

本業績修正に伴う2022年12月期の配当予想に変更はありません。当期は、中間配当13円（実施済）、期末配当17円とし、年間30円の配当を実施する予定です。

4. 決算発表日について

延期しております2022年12月期決算発表予定日につきましては、大変申し訳ございませんが、決定次第、速やかに公表いたします。

今回の決算発表遅延の原因は、米州事業のうちテネシー現地法人管下の2工場において、工場管理および経理要員の短期間での退職を補う準備不足により、決算実務に大きな支障を来し、会計監査プロセスで努力いただきましたにもかかわらず、当社の責めにより大幅に遅延したことによるものです。

不正・粉飾・不祥事等につきましては、開示すべき事実はありません。

なお、テネシー現地法人の管理体制につきましては是正措置を取っており、以降の同種事案は再発しないと認識しております。

株主・投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には、多大なるご迷惑をおかけしておりますことを改めましてお詫び申し上げます。

5. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	8.9	9,000	—	7,700	—	5,400	—	133.89

6. 利益配分に関する基本方針および2023年12月期の配当

当社は、セラミックなどの成長戦略、技術革新およびESG投資を実施し、財務基盤の長期の安定化および安定的な資金調達を行ううえで必要な格付けを維持することならびに持続的な成長の実現に向け、株主還元を判断していく考えであります。

2023年以降は配当性向35%を目安とした安定的な配当を継続しながら、利益水準に関わらず安定配当として、原則1株当たり年間30円を維持していきたいと考えております。

2023年12月期の配当金については、年間48円を予定しておりますが、中間配当額は、現時点では未定といたします。

以上